

会 議 録

会 議 の 名 称		豊中市上下水道事業運営審議会		
開 催 日 時		令和7年（2025年）10月21日（火）午前10時00分～午前11時30分		
開 催 場 所		上下水道局 4階会議室	公 開 の 可 否	㊦・不可・一部不可
事 務 局		上下水道局 経営部 経営企画課	傍 聴 者 数	1人
公開しなかつた理由				
出席者	委 員	浦上会長、石川委員、清水委員、大路委員、竹之内委員、川島委員、松岡委員		
	事 務 局	吉田上下水道事業管理者、河本経営部長、細川技術部長 木下経営部次長兼経営企画課長、 松井お客さまセンター長兼給排水サービス課長、 森山技術部次長兼水道建設課長、中島技術部次長兼下水道管理課長 大橋猪名川流域下水道事務所長兼維持課長 長尾総務課長、宇都宮総務課長補佐、坂本総務課総務係長 富永経営企画課長補佐、小谷、高坂		
	そ の 他			
議 題		【案件】 1. 「第2次とよなか水未来構想」に基づく取り組みについて フォローアップ（改訂）について 2. その他		
審議等の概要 （主な発言要旨）		別紙のとおり		

令和 7 年度 豊中市上下水道事業運営審議会
第 2 回会議 議事要旨

- 開会
- 管理者挨拶
- 資料確認
- 会長挨拶
- 成立要件の確認

事務局

本審議会の成立要件ですが、審議会規則第 7 条第 2 項により、委員の過半数のご出席を必要といたします。本日は委員総数 8 人のうち 7 名にご出席をいただいておりますので、本審議会の成立要件を満たしておりますことを報告いたします。

●案件 1. 「第 2 次とよなか水未来構想」に基づく取り組みについて
フォローアップ（改訂）について

会長

案件 1 について、事務局から説明願います。

事務局

（【資料 1】～【資料 4】について説明）

会長

ただいまの説明について、ご意見ご質問があればお願いいたします。

委員

P34、P39 の原価計算表について、純利益を資産維持費と表現することは問題ないでしょうか。

事務局

料金・使用料の改定を検討した際には、総括原価の算定の過程で、資産維持費は料金回収率、流動比率、現金預金残高等の一定の基準となる指標をクリアできるように算定しておりました。

今回の水未来構想の改訂時点では料金改定後となるため、資産維持費をどのように捉えるかは事務局内で議論を行い、国等の関連資料も参照の上、料金改定後の資産維持費は純利

益に含まれていると捉え、純利益として算定を行いました。

会長

その考え方はよくわかるのですが、資産維持費と純利益にはそれぞれ定義が存在する別の言葉になりますので混同をしないように資産維持費をどのように捉えたかを読み手に伝わるように注釈等で補足することが必要に思われます。

委員

言葉の使い方や記載ぶりの問題かと思いますので、読み手が理解できるような記載がよいかと思います。一般の方にはなじみがないかもしれませんが、審議会に出席される先生方には違和感のある部分ではないかと思います。

事務局

P34 の資産維持費（純利益）5 億 6 千万円という表現は正確には純利益の数値であるため、純利益という表現を用いて、その上で純利益の中に資産維持費が含まれているという旨の説明を加えることが正確かと考えておりますので、検討の上、次回審議会でお示しできるようにいたします。また、原価計算表は総務省からひな型が公表されておりますが、ひな型に沿いつつも豊中市としての解釈や考え方は注釈で示す形で考えております。

会長

原価計算表で示されている数値（P34 の 1.07 という数値）については、これまで算定してきた何らかの指標の数値に該当するのでしょうか。

事務局

水道事業の料金回収率、下水道事業の経費回収率にあたるものになります。

会長

そうであれば、料金回収率や経費回収率を示すものであると、説明書きがあったほうがよいのではないのでしょうか。

事務局

水未来構想は市民に分かりやすく説明すべきであり、上下水道に精通した方ですらわかりにくいようでは問題と考えております。元の書式を損なわない範囲で注釈を活用し、わかりやすくお伝えできればと考えております。

会長

ありがとうございます。そのようにしていただけると非常にわかりやすくなるかと思えます。

委員

原価計算表について、仮に料金改定がなかった場合に純利益や資産維持費がマイナスとなっていたということであれば、そのような注釈や説明があれば、料金改定の意義を示せてよいのではないかと思います。

事務局

ありがとうございます。精査をいたしまして可能な限り反映させていただきます。

委員

令和 7 年に実施した料金改定後のアンケートについては非常に重要であると考えます。事務作業上の都合もあるかもしれませんが、もし可能であるならば、令和 7 年度のアンケート結果を改訂版に反映できればよいのではないかと考えました。

事務局

改訂版では、令和 4 年度のアンケート結果を反映予定ですが、令和 7 年度のアンケート結果は、水未来構想と対になる実行計画がございますので、そちらのほうで反映を行う形で考えております。

委員

令和 7 年度のアンケート結果は次回の審議会でご報告いただけるのでしょうか。

事務局

アンケート結果の概要は、次回の審議会でご報告させていただきます。加えて、アンケート結果に基づく要因分析は今年度中に実施予定です。

委員

1 点目は P86 のタイトル「計画期間内の水道事業・下水道事業の動向」は、日本全体の動向を記載されていますが、豊中市における動向であると誤解を生む恐れがあるので、タイトルを変更されてはいかがでしょうか。

2 点目は用語解説が章ごとに区切られているため、語句の重複がございます。章の区切りを無くし、すべての語句をアルファベット、あいうえお順に並べる形式も考えられますがいかがでしょうか。こちらは形式の問題ですので、必ずしもというこだわりはございませんの

で一意見として受け止めていただければと思います。

最後にですが、改訂版を策定されて、策定がゴールではなく、市民の皆様を知っていただくことが重要と考えております。水未来構想を読んでいただき、豊中市は上下水道をしっかりと運営している、料金改定も必要なことであるということを市民の皆様に理解していただけるように訴求方法も検討いただけるとよいと思います。

事務局

ご意見をいただきましてありがとうございます。検討させていただきます。

また、PR や広報についても今後留意しながら進めたいと思います。

委員

詳細さも重要であるが、上下水道に馴染みがない方向けに、わかりやすさも重要であると感じました。

会長

実際に豊中市でもキャラクターを登場させたような、上下水道に馴染みのない方や子供向けのわかりやすい PR 資料などもお作りになっていますよね。

事務局

前回改訂時には、わかりやすさを重視した概要版を作成しており、今回も概要版を作成する予定です。

委員

P15 の災害対策について、既に豊中市で進めている耐震化や老朽化対策をいかにわかりやすく伝えるかが重要であると考えます。市民の皆様に安心していただけるような文面、数値、写真等わかりやすくお伝えいただければよいのではないかと思います。

事務局

【参考 1】のとよなかの上下水道は、今年 10 月に発行しており、豊中市全戸に配布した市民向けの広報誌で、下水道管の安全性対策を進めている旨を PR しているものになります。このような形で PR も行っております。

また、直近のお客さまアンケート調査の結果においても、読んでいただいた方にはご理解をいただいていることは確認できております。一方でいかに目に入れて読んでいただけるかが重要であり課題にも感じております。

委員

分かりやすく非常に良いと思います。

委員

池田市では PR のチラシを広報に挟んでポスティングしており、単独で郵送されるよりも目にしていただける機会が多いのではないかと感じます。

事務局

本市においても、広報誌に挟んでポスティングしております。また文字を大きくする、ビジュアルを積極的に用いる等の工夫を施しております。

会長

用語解説について、例えば公設公営の定義について、“建設・運営共に公共部門が主体となること”と記載があるが、建設ではなく所有の方が適切ではないでしょうか。また、資産維持費についても現在の説明でも誤りではないが、国の関心も高まっており、重要度もますます増しているので、もう少し詳細な説明があったほうがよいのではないのでしょうか。その他にも必要な説明ができていないか再度確認をお願いできますでしょうか。

事務局

承知しました。

委員

P10 の人口動向について、今年 6 月に厚生労働省で最新の人口統計が出ており、2023 年には出生率が 1.2、2025 年 6 月には 1.15 になったとありました。国立社会保障・人口問題研究所の発表では 2070 年に出生率が 1.13 まで低下すると 2100 年には人口は 5,100 万人まで減少すると予測されている。個人的にはすさまじい人口減少の現状に危機感を持っております。

改訂版では前回推計より人口減少は緩和されるという記載ぶりになっておりますので、最新の人口推計を用いてアップデートすべきではないでしょうか。

事務局

国立社会保障・人口問題研究所では国勢調査後のタイミングで人口推計を公表しており、改訂版では最新の推計を使用しております。

会長

かつては大阪府独自の人口推計のデータがあったのですが、現在はしていないため、人口

推計データは国立社会保障・人口問題研究所が公表するものが唯一になります。肌感覚としては出生率が落ちているという危機感はあるものの、データの用い方としては問題ないかと考えます。一方で楽観的な印象を与える記載ぶりとなっていないかは留意をお願いします。

事務局

改訂版にあたっては、前回改訂版から比較した記載ぶりとなっておりましたが、仰っていただいた通り、今回の改訂版を初めて目にした方に誤解がないように記載ぶりを検討させていただきます。

委員

私は他市から豊中市に移ってきたのですが、住みやすい街だと感じます。上下水道モニターにも参加させていただき、そこで初めて水道事業は税金ではなく料金収入で賄っているということを知りました。そのようなことは知らない方も多いと思いますので広報誌などで周知していただければと思います。ちなみにモニターは他の自治体でも一般的なのですか。

事務局

モニターは一般的かと思います。

委員

人口減少に関連して、今後外国から移住される方も増えてくるかと思います。水道は生活に不可欠ですので、今後外国から移住される方への訴求も重要になるかと考えております。様々な言語すべてで広報を行うのは難しい部分もありますので、平易な日本語でのわかりやすい広報や媒体含めた検討も重要かと考えます。

会長

貴重なご意見をありがとうございます。先ほどからのお話も総括すると、いかに上下水道のサポーターを増やすかというところが重要となります。社会の関心が高まっている中で、上下水道局からの発信の広報も重要ですが、自発的に興味を持たれた方がいた場合にも理解をしていただき、心を掴むような仕組み作りもぜひ考えていただきたい。

また、これからは若い世代の方々に広く上下水道を知ってもらわないといけないので、上下水道局でも若い世代の方々に積極的に広報を担っていただくということもぜひご検討いただければと思います。

委員

料金改定を実施され、確保した資金で施設の必要な整備や機能を高めるための投資が非常に重要です。これまで通り様々なことにチャレンジしていただけたらなと思っています。

最後に用語解説ページの高度処理の説明ですが、上水の高度処理と混合がないように下水の高度処理である旨を補足した方がよいかと思います。

事務局

承知しました。

会長

それでは、案件 1 については以上となりますが、事務局から案件 2 その他として何かございますか。

●案件 2. その他

事務局

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。

会議中に質疑できなかった内容がございましたら、来週中をめぐりにメール等で事務局までご連絡いただければと思います。次回の審議会は 11 月 25 日火曜日の午後 4 時からとなっております。次回の審議会では、今回ご審議いただいた内容を踏まえ、第 2 次とよなか水未来構想改訂版のパブリックコメント前の最終案のご報告、料金・使用料改定後の経過とご報告、お客さまアンケート調査の速報版のご報告、以上の 3 案件を予定しております。

事務局からは、以上となります。

会長

それでは以上をもちまして、すべての議事が終了いたしました。本日の審議会はこれをもって閉会とさせていただきます。（閉会）